

1

劣化が進む危険建築物の一刻も早い解体・撤去を

市役所
庁舎

▶④街区の「防災公園」に隣接して再整備を

議会質問・要望のポイント

④・⑤街区の土地区画整理事業は、都市再生に資する事業で、災害に強い市街地の形成等を図るため公費を投入する価値がある、高度利用しないと市は説明しています。しかしながら、人口減少に向かう今、高層マンションや、店舗構成も持続性も不明な民間商業ビルを誘致するために、土地区画整理事業と称して④街区の都市インフラ整備に多額の公費を投入するのは**無駄**以外の何ものでもありません。

旧市民会館本館及び大ホール棟、職員会館、市庁舎本館・別館など、劣化が進む危険建築物を一刻も早く解体・撤去し、優先順位を明確にして、必要性の高い公共施設の建て替えを迅速かつ段階的に行うべきだと考えます。

奥野の**考え**

- いつまでも残しておくから、老朽化した公共建築物の無駄な維持管理コストを支出するハメになっています。
- 南海トラフ大地震などの大規模災害に備え、劣化が進む危険公共建築物は一刻も早い解体・撤去が求められます。
- 自治の拠点であり、災害対策の拠点となる市役所庁舎は、平時にはさまざまな年代の人々の憩いと楽しみ場となり、発災時には防災拠点となるフェーズフリーの「防災公園」に隣接して整備することが最も効果的です。

2

隣接の公有地等を活用し、早急な建て替え検討を

枚方
消防署

▶遠隔地移転ではなく隣接地で整備を

議会質問・要望のポイント

枚方消防署及び訓練施設に必要な敷地面積3,500㎡を現在地の隣接の⑤街区内に確保するのは難しいとの理由で、中宮北小学校跡地への遠隔地移転案が報告されました。現在位置から移転すると、現枚方消防署がカバーしている圏域は**すっぽりと抜け落ち**、移転後の圏域は現渚出張所の圏域と重複することになります【下図参照】。枚方市駅周辺には高層建築物も増え、滞留人口も多くなり、中心市街地の防災力のさらなる向上が求められます。必要な面積を確保できるよう⑤街区の活用計画を見直すべきではないでしょうか。

奥野の**考え**

- ⑤街区に市役所新庁舎を設置する条例案が議会において明確に否決され、まだ事業着手に至っていないのですから、隣接地である⑤街区の市有地・公有地等を移転候補地として、枚方消防署及び訓練施設を早急に整備できるよう、枚方市駅周辺再整備基本計画を再検討するべき。
- 中南部・南西部地域における救急体制の増強が喫緊の課題とされている中、枚方消防署の遠隔地移転にはまったく合理性がありません。**高度化された市街地消防体制を弱体化**させてしまいます。

